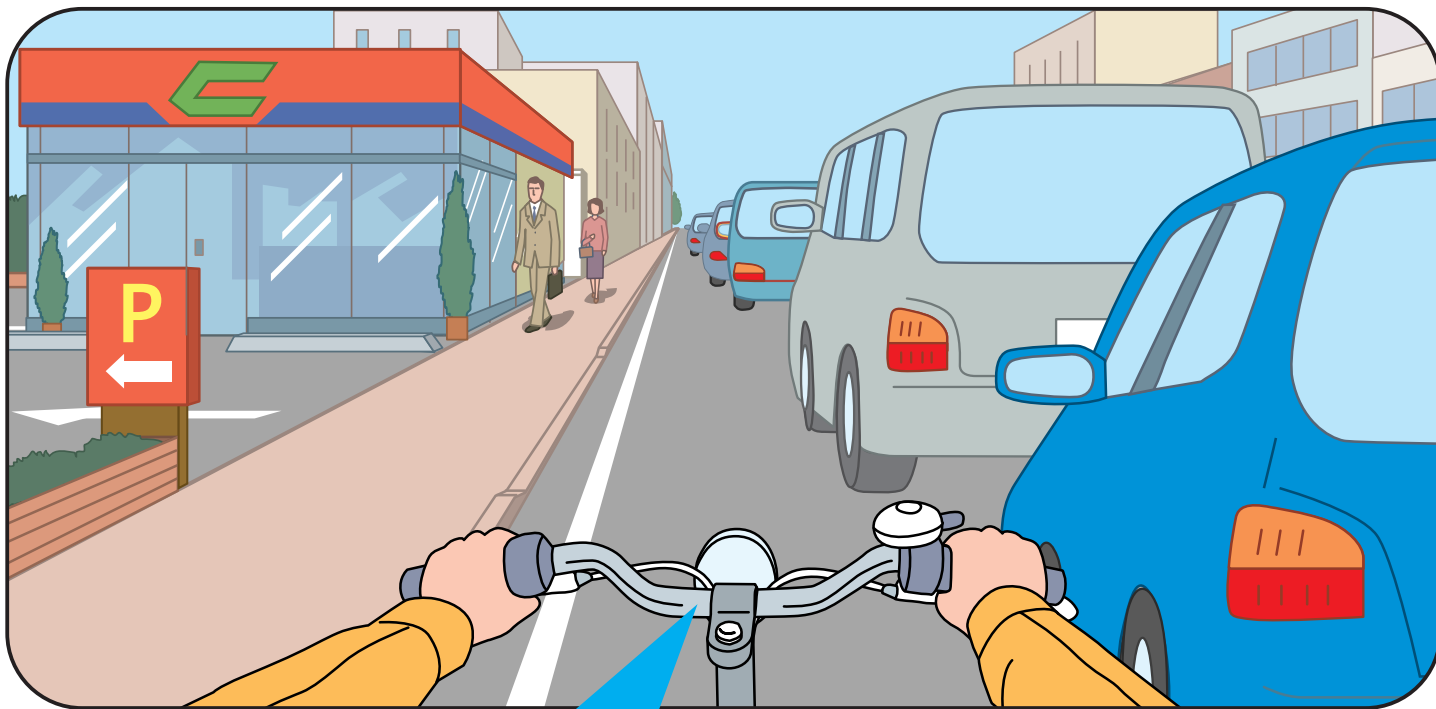


危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第43回 渋滞で停止しているクルマの横を走行している時(自転車編)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は自転車利用者に、渋滞中のクルマの横を走行している時の危険について考えてもらうためのKYTです。



あなたは車道の左側端を走っています。右側はクルマが渋滞中で、前方には店舗の駐車場の出入り口があります。

安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？

活用方法

- ① 少人数のグループをつくります。
- ② 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
- ③ その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

ホンダ SJ 検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業(株) 安全運転普及本部
TEL: 03 (5412) 1736
E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

©本田技研工業(株)

指導者ファイル 24

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。



鹿児島県鹿児島市・安心安全教育指導員の皆さん
田丸博子さん(写真左)、前田靖代さん(写真右)

子どもが保護者に伝えたい印象的な交通安全教室をめざす

鹿児島市は鹿児島県のほぼ中央に位置する人口60万人の都市である。同市民局危機管理部安心安全課に所属する安心安全教育指導員・田丸博子さん、前田靖代さんが市内の幼児、小学生、高齢者への交通安全教育を担っており、平成25年度は二人で交通安全教室を289回開催し、約2万7000人に教育を行った。

幼児においては自作の教材をはじめ、腹話術人形の「こうちゃん」「いちごちゃん」やHondaの交通安全教育プログラム「あやとりい ひよこ編」などを活用している。「子どもが家に帰って『今日、こんなことをやった』と、保護者と交通安全について話さきっかけになれば良いと考えています。そのために、子どもの印象に残る内容にしていく必要があるのです」と田丸さんはいう。

「小学生には、自転車乗用中には自

分のことだけでなく、歩行者やドライバーなど他者の立場を考えてもらえるような指導を心がけています。思いやりの心を育てることが、基本的な『きまり』を守るという行動につながります」と前田さんは話す。

平成26年の鹿児島県内の高齢者(65

歳以上)の交通事故死者数は58人と前年よりも10人増加した。「夜間、歩行中に事故に遭う方が多くなっていることから、高齢者の教室では反射材を配って、着用を呼びかけています」。二人は今後、高齢者への啓発・教育にも力を入れていく考えだ。

★幼稚園・保育園での交通安全教室



最初は手づくりのエプロンシアターで、幼児の興味を引きつける

Hondaの交通安全教育プログラム「あやとりい ひよこ編」を活用して、信号機のある交差点の渡り方を説明。その後、園庭に信号機と横断歩道を設け、幼児に実践してもらう



最後に「Honda交通安全かるた」から抜粋した絵札を使ってワンポイントアドバイス。提示した順に絵札をつなげると「はやくおきてね」というメッセージになる。小学校入学直前の幼児に、早起きをすることで余裕を持った行動ができ、事故防止につながることを強調。

★小学生への自転車教育の時に使用するKYT教材



小学3年生以上への自転車教育では、実技指導だけでなくKYTも行っている



指導者の皆さんの活動を動画でご紹介
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/>

SJクイズ ?

1 平成25年の自転車乗用中の交通事故死者数を年齢層別にみると、最も多い年齢層は次のうちどれでしょう？

- ① 15歳以下 ② 16～24歳
③ 65～74歳 ④ 75歳以上

2 平成25年の自転車乗用中の交通事故死者数を損傷部位別にみると、最も多い部位は次のうちどれでしょう？

- ① 頭部 ② 胸部 ③ 腹部 ④ 頸部

3 自転車のブレーキは乾燥した平坦路面を10km/hで走行している時、ブレーキをかけてから何メートル以内で止まれるものでなければならないでしょう？

- ① 3m ② 5m ③ 8m ④ 10m



※「解答」は8面下。「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

©本田技研工業(株)